

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-505075(P2008-505075A)

【公表日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-007

【出願番号】特願2007-519246(P2007-519246)

【国際特許分類】

C 07 D 401/12	(2006.01)
A 61 K 31/496	(2006.01)
A 61 P 7/02	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 P 9/10	(2006.01)

【F I】

C 07 D 401/12	C S P
A 61 K 31/496	
A 61 P 7/02	
A 61 P 43/00	1 1 1
A 61 P 9/10	

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月13日(2008.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1 - (インドール-6-カルボニル-D-フェニルグリシニル) - 4 - (1-メチル-ピペリジン-4-イル) - ピペラジンD-酒石酸塩。

【請求項2】

結晶形態にある、1 - (インドール-6-カルボニル-D-フェニルグリシニル) - 4 - (1-メチル-ピペリジン-4-イル) - ピペラジンD-酒石酸塩。

【請求項3】

2 = 11.5、15.9、17.4、18.1、18.5、及び21.9において鋭く強いピークがあるX線粉末回折パターンを有する結晶形態にある、1 - (インドール-6-カルボニル-D-フェニルグリシニル) - 4 - (1-メチル-ピペリジン-4-イル) - ピペラジンD-酒石酸塩。

【請求項4】

医薬組成物であって、少なくとも1つの製薬的に許容できるキャリア又は賦形剤と共に請求項1～3のいずれかに記載のD-酒石酸塩を含む医薬組成物。

【請求項5】

治療において使用される請求項1～3のいずれかに記載のD-酒石酸塩。

【請求項6】

請求項1～3のいずれかに記載のD-酒石酸塩を含み、血栓性疾患を防止するために使用される医薬組成物。